

ご葬儀の流れ

臨 終 直 後

☆まず蓮華堂にご連絡ください

☎0720-83-8581

□24時間、いつでも結構です。

☆病院にて死亡の場合

- 看護婦さんがご遺体の処置をされますので、故人の着物をご準備下さい。
(約1時間くらいかかります。)
- ご遺体を自宅又は式場までお送り致します。

☆末期の水

割箸の先に脱脂綿をまきつけ、水茶碗の水に浸して故人の唇をぬらすようにします。
(しきびの葉でするのが多い。)

☆親戚に連絡

□肉親や特別な関係の方にはとりあえずお知らせします。

☆死亡診断書の受取り

- 以後の火葬手続きに必要です。
(有料ですのでその時に請求されることもあります。)
- 尚、保険請求の診断書は別の診断書ですので後日、死亡地、住所地、本籍地以外の場所にて火葬をする場合2通必要です。
- ご自宅でなくなった場合
医師又は警察による死亡の確認が必要です。

☆ご遺体の移送

- 24時間、いつでも結構です。
- ご遺体を自宅又は式場までお送り致します。
(時間帯によって交通渋滞がありますので早いめにご連絡下さい。)

☆ご遺体のご安置・枕飾り

- お仏壇があれば仏間に安置
北枕又は西枕にご安置します。
- 枕飾りをします(当社にて準備)
尚、関西にてはこの時点で末期の水をいたします。
- 枕飯をご準備する(わざわざ炊いて下さい)
故人の茶碗に盛りつける(宗旨によってはいらぬ場合もあります。)
- 神棚封じをします。
神棚の榊、水、白米等、供物を片付けて戸を閉め白紙で張り、絵画や額、置物等の装飾品は取り外し、表に忌中紙を貼ります。

寺院への連絡

☆枕経のお願い

□宗旨、宗派、所属寺院の確認

☆日時の打合せ

- 通夜、葬儀、お骨上げ、初七日経などのスケジュールを相談。
- 戒名、法名のお願いをします。
- 通夜、葬儀の僧侶の人数、送迎、食事など打合せをします。
- お布施の金額の確認。

町内会に連絡

- 町会長又は組長、班長に連絡をします。
- 集会所、自治会館をお借りする場合には住所、電話番号、駐車場などのお願ひ。
- 会館の冷暖、グラス、湯のみ、お盆、などの確認。
- 使用申込書記入と使用料金の確認。
- 式場所在地の地図を作成。

(☑ご遺体の安置・枕飾り・神棚封じ・お仏壇・忌中紙等は、蓮華堂担当者がお世話いたします。)

葬儀の打ち合せ

《 宗旨・宗派・家紋等などの確認 》

☆葬儀内容の決定

- 喪主を決める。
- 通夜、葬儀の日時、式場を決定。
- 葬儀の規模と予算を決めます。
- 世話役や主な係を決めます。

☆準備と手配 (当社にて素早く手配致します)

- ① 遺影写真の引き伸ばし ⑤ 式場の設営
 - ② 霊柩車、斎場、 ⑥ 受付用具・案内掲示
 - ③ 会葬礼状・粗供養品 ⑦ テント・冷暖房設備等
 - ④ バス、タクシー手配 ⑧ 新聞広告、その他
- 1 生花、檀、その他、供物の注文
- 2 式服の用意 (貸衣裳の場合)
- 喪服 (年令・帯の柄が変わります)
 - 礼服、モーニング (身長、体重、ウエスト)
 - 通夜ふるまいの料理、精進落しの料理。
お手伝いの方の弁当や引出物等の手配。

手 続 き 事 項

- 死亡届けに必要事項を記載します。
- 死亡届けを市役所又は区役所に手続をします。
- 火葬許可書を受け取り火葬場へ届ける。
- 必ず印鑑が必要です。(みとめ印)

死 亡 の 連 絡

(当社と通夜、葬儀の日時を決めてから連絡した方が1回で済みます。)

- 親戚への連絡
- 友人や関係先の連絡
- 町内への連絡
- ① 通夜、葬儀が決ったら早く連絡しましょう。
- ② 故人や遺族の会社関係には社内で中心となって伝達してもらえる上司などに連絡します。
- ③ 向こう三軒両隣りは、直接挨拶に出向きます。
- ④ 町内への連絡は町会を通じて行うようにします。

☆祭壇・式場の飾り付・納棺

- 式場の飾り付及び設備等は当社にてさせて頂きます。
- 納棺は飾り付の終了後させて頂きますので主だったご親族がお集り下さい。
- 納棺の際親族の皆様にもお手添いいただきます。
- 柩の中に故人の愛用品及び好きな食べ物などを納める (ガラス、金物などは入れられません。乾電池、ペースメーカーは前もって病院にて取り除いていただく)

☆供花、供物、料理、式服の発注

- 桜 1 対 ¥ 5,000
- 生花 1 対 ¥ 20,000より
- 果物籠 1 基 ¥ 10,000より
- 廻転灯呂 1 対 ¥ 15,000
- 料理 (パンフレットがあります)
- 飲物 ご近所のお酒屋さんが当社にても手配します。(飲物の入れ物及び氷の手配)
- 式服
 - ◇ 喪 服 ¥ 10,000より(身幅と年令) 白タビと肌着はご準備下さい。
 - ◇ 略 礼 服 ¥ 10,000より (身長、体重、ウエスト)
 - ◇ モーニング ¥ 15,000より (身長、体重、ウエスト) (略礼服・モーニングともカッターシャツと靴下はご準備下さい)

お 通 夜 の 準 備

- ご寺院用の控室及びお茶・お茶菓子のご準備
- 受付の場所と人数
- 道案内 (立看板の設置車用又は徒歩用)
- 履物、傘、携帯品等の番号札の用意
- 駐車場の用意 (近くにあればお借りする)
- 冷暖房設備、休憩所等の天幕
- トイレットペーパー、ティッシュペーパーの用意
- 遠方からのご親戚の宿泊のご用意 (貸布団、ねまき、洗面用具)
- お茶・お茶菓子・通夜料理・お酒・ビール等通夜接待のご準備
- 数珠、黒ネクタイ、靴下、貸衣裳用の肌じばん足袋、香典用の袋などのご用意

(〇ご納棺・祭壇・式場の飾り付け等は蓮華堂担当者がお世話いたします。)

お 通 夜

- 通夜開式10分前にはお席の方におつきいただきます。
- お通夜の場合は席順位は決めません、前の方よりお席におつきいただきます。
- お通夜のお勤が始まりましたら喪主からご焼香いただき後は前の方より随時焼香です。続いてご弔問者のご焼香ですので喪主はじめ遺族の方はご挨拶の出来る場所にお席を移つていただきます。
- お勤めの終了後、頃合を見て喪主又は親族代表が挨拶を行います。
- 挨拶終わりましたら、ご弔問者への通夜ぶるまいをおこないます(食事、飲物等の接待)
- ご弔問者がお帰りの際には、粗供養をお渡しします。
- お通夜が一段落したら焼香順位、弔電の披露順位、供花(檜、生花等)の手配と確認、式後の料理の確認など翌日の式典の準備を親族の主だった方々と相談をしておきましょう。

ご葬儀・告別式の準備

- ご葬儀の準備等は蓮華堂の係員が、適切にアドバイスさせていただきます。
- ご葬儀式典の進行等は蓮華堂の係員がお世話させていただきます。
- 各葬儀委員のかたがたは、開式一時間前にはご集合いただき所定の位置にお座りいただきます。
- 親族の方々も開式一時間前には、お集まりいただき式服にお着変えいただけます。その後式場内にて葬儀記録写真の撮影し、親族の方々のお席を決めて式次第のご案内をいたします。

葬 儀 ・ 告 別 式

葬儀は遺族、親族、特に親交のあった人達が故人の冥福を祈る儀式であり、告別式は一般の縁者が故人との永別を惜しむための儀式ですが殆どの場合は二つの儀式を同時に行ないません。
 式の進行は遺族の宗旨によってそれぞれのしきたりに従って行いますが僧侶、神職、牧師さんの司式によって蓮華堂の係員が、落度のないように進行しますから安心してお任せ下さい。

一、 閉式の辞 一、 僧侶退場 一、 焼香 喪主、遺族、親族、各代表、一般 一、 弔電代読 一、 弔辞拝受 一、 導師焼香 一、 開式の辞(読経)	仏式々次第の一例 一、遺族、親族式場案内 一、導師以下僧侶入場
---	---------------------------------------

遺族、親族の焼香の後、主だった親族の男性(女性もありうる)は5名~7名は立札場へと進み参列者の焼香後答礼をする(係員がご案内)

《 出 棺 》

□閉式後立礼者は会葬者に対してお礼の挨拶(喪主又は親族代表)
 告別式が終ると柩を式場中央に安置して近親、縁故者が生花等を遺体に捧げて永別を惜しみます。その後、柩を霊柩車に移しますが親族の男性6名ないし8名の手で移します。喪主に位牌、遺族が遺影を持って柩の前を歩き霊柩車に柩を安置して戸開を閉めた後一礼をしてお供車に乗車をし出棺いたします。
 出棺の後は責任のある方お一人は残っていただいて蓮華堂係員との祭場片付け、お香典の整理、仕上げ料理の持込等について種々お指図下さい。

《 齊 場 》

霊柩車が火葬場に到着しますと荘厳室にて読経の中焼香をいただきますが一つまみの一回焼香をします。(順位はありません)
 その後、柩を火葬炉へとお移し点火をして収骨までお残りの方は控室へご案内します。(約2時間)

《 お骨迎え 》

齊場から戻った人が家に入る時は「清め塩」を足で踏んでけがれを清める風習があります。(宗旨によってはしない)
 遺骨は、中陰飾の祭壇に安置し、灯明をつけ線香をあげて僧侶の読経をいただきます。この回向を灰葬経又は還骨経と言います。引き続き初七日法要をされることが多いようです。
 ※この祭壇は蓮華堂が出棺後決めていただいた位置に飾付けをします。

(●お通夜の準備等はすべて蓮華堂で準備させていただきます。)